

世界の真実と連中の目論見 (仮説)



連中は虎視眈々と人類奴隷化を狙ってきた

- これらは、数世紀をかけて周到に準備されてきた
 - － 医学を含む科学を乗っ取り、単なる教会ドグマを人々に信じ込ませる
- 人の一生をはるかに超える長いあいだ、なぜこんなに執拗に行っているのか？
 - － 秘密結社が世代を超えてやっている
 - － 人間を超える者が指示している



今、連中は一気にやっけてしまおうと考えている

- 人類を奴隷化するIT技術が出現したことで
 - － 人類全員を徹底的に監視できる（監視社会の実現）
 - － 言論の自由を剥奪できる（様々な「言い訳」でネット検閲）
- IT音痴が多すぎるため、この分野についての危機感が醸成されない



その理想は中国社会

- 中国社会の動画をどうぞ
- 苦米地英人の説明をどうぞ



ただし、民主主義社会では

- 国民にその意図を知られてはならない
- じわじわと「ゆで蛙」にしていく
- ある「段階」を導入し、誰もが受け入れたら、その次に行く
 - － 消費税が典型例
- （ウイルスなどで）恐怖させ、その一方で「皆さんの安全・安心と便利のため」と誘導する

連中のやり口の基本

- トンデモを流布して恐れさせる
 - 二酸化炭素で温暖化が起こって大変だ
 - 新たなウイルスの病気が起こるだろう、大変だ
- 「安全で便利、皆さんのためです」を旗印に騙す
 - 徹底監視でみんな安全（プライバシーの剥奪）
 - 偽情報の締め出しでみんな安全（言論の自由の剥奪）
- 同調圧力で、従わない者を社会から締め出し
 - 上から指示しなくとも、マスク・ワクチンを互いに強制
- 何の理由もなく「政府」が強引に強制する場合もある（マイナ

人の命や権利よりも、金を優先する企業が儲かるようにし、従わせる

- コロナを煽り、莫大な金を使い、製薬企業・医療関係者が儲かるようにする
- マイナンバーを強制し、莫大な金を使い、IT企業が儲かるようにする
- これらの金の亡者が、その本質を理解せずに、同胞の首をしめ続けている
- 「儲けピラミッド」の中の者が、これをもっと推進する



なぜ、こんなことが起きているのか？

人間を超える存在が指示している
としか、私には考えられない
クリスチャンなら「悪魔」という解釈
(私はクリスチャンではありません)



その前に。。。
この世界は仮想現実である

私の経歴

- 2014,5年にスピリチュアルにはまる
- 2016年に、物理学者トム・キャンベルの話を知りたくて、字幕をつけ始める
ーキャンベルは物理学者として、「この現実の本質」を追求する活動

「向こう側の人から聞いた」という
スピリチュアル系書籍で語られることは
頭のおかしな人の戯言に過ぎないのか
それとも真実なのか？



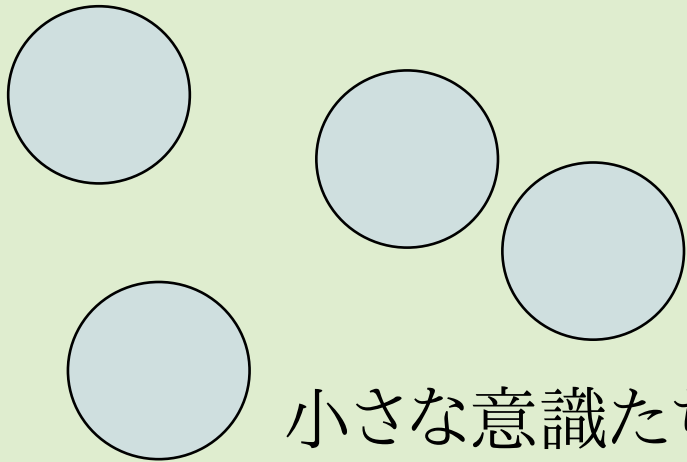
トム・キャンベルの主張

- この世界は「大きな意識」（ぶっちゃけ神）が作ったコンピュータによる仮想世界。
- 神の一部である「小さな意識」（ぶっちゃけ魂）をそこで遊ばせている。つまり、我々。
- 神コンピュータの最高スピードが光速度。通常は光を超えられないのはこれが理由。



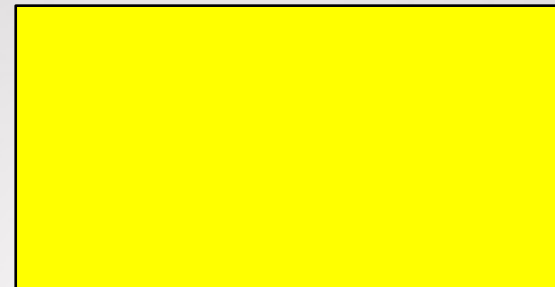
大きな意識
(ぶっちやけ神)

仮想現実



小さな意識たち
(ぶっちやけ魂。もとも
と神の一部)

どこかにある
神コンピュータ



我々（魂）は仮想現実ゲームをプレイしている



私（魂）

仮想現実

神コンピュータ

私のキャラクター
（死んでも復活）

しかし

- この世界に来た時に「神の記憶」はすべて消される
 - ー知っているとネタバレになり、面白くない
- 次のキャラクターとして復活した時に「前世」の記憶はすべて消される
 - ーたまに覚えていて、正確に言い当てる子供もいるが、成長につれて忘れてしまう
- しかし、たまーに「神レベル」の人間、あるいは神と通じている人間が現れる

この世はコンピュータゲームなので

- 我々（意識、魂）が見ていないところは描画されていない
- 見てないところまで描画するとコンピュータが大変

誰かが見てるところしか
描画されない

見てないところは
なんにも無い



とても重要な点

- 意識と物質はつながっている
 - － だから、誰かが見ているところしか「描画」されない。つまり、存在していない。
 - － 意識は物に影響できる



100年前から「この現実がおかしい」 ことはわかっていた

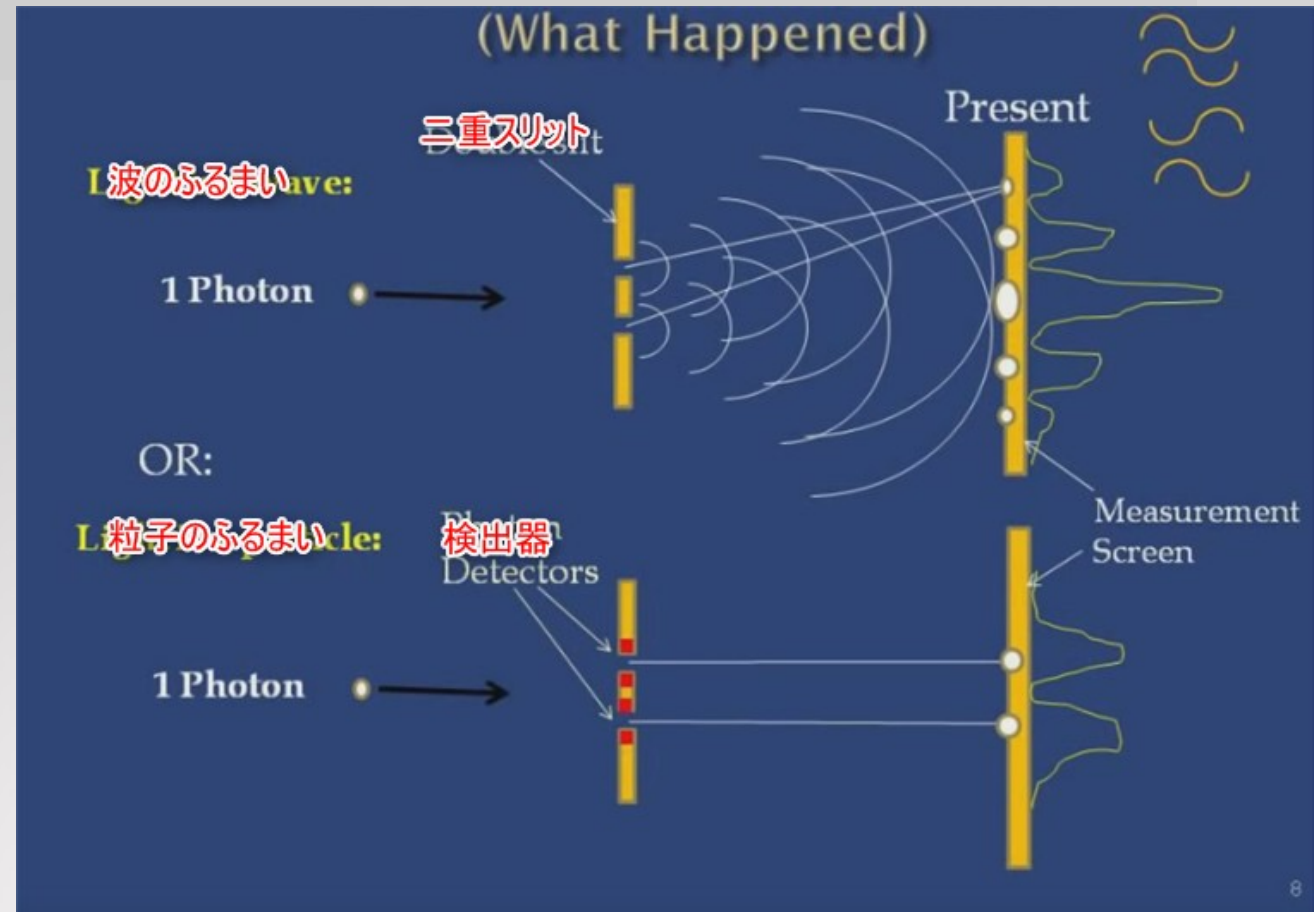
- アインシュタインの時代の量子物理学者は気づいていたが、当時は「仮想現実」という概念すらなかった
- 特に「二重スリット実験」の結果を未だに主流科学は説明できず

主流科学では、物質がすべてであり
意識は物質から生まれたもの
というドグマを信じ込んでいる

二重スリット実験

- ・ 人間（意識）が観察している・していないで結果が異なってしまう。

良くある物質主義者の説明としては「観察することによってちよっかいを出してるから」というものだが、完全にちよっかいにならない実験方法も編み出されている。しかし、結果は同じ。



物質論を信じ込ませたい

- 「お前は、ただの物だ！」と信じ込ませた方が、「支配層」にとっては何かと都合が良い
 - ーだから、主流科学はそっちに行かない。物質主義者のドグマに浸ったまま。
- 医療も同じ。「人間はただの機械」というドグマに執着し、「意思の力」を認めない。しかし、治ると思えば治る→プラシーボ効果
- 「死んだら終わり」と吹き込まれ、「この人生」で可能な可能な限り多くを得ようとする。これは「支配層」にとって都合が良い。

あなたがここにいるのは偶然ではない

- この世界は偶然生まれたわけではない。意図されている。
- あなたの存在も意図されたもの。
- ただし、私は以下はわかりません
 - ービッグバンから138億年かけて現在に至ったのか、あるいは、ほとんど現在の状態でいきなり出現したのか
 - ー地球は丸いのか平らなのか
 - ー宇宙には地球だけなのか否か。つまり、宇宙は無いのか。

「本当は何があなたを病気にするのか？」

著者もスピリチュアル系だった

- この現実は何か、なぜここにいるのか、死んだらどうなるのかが人生のテーマ
- 2010年にスピリチュアル系の本を出す。ここでは、「病気とはあなたの信念が作り出すもの」と説明する。
- その過程でウイルスを調べてみると、HIV・エイズのウソに
- さらに、抗がん剤治療を受けた家族・知人が全員死亡の一方で、受けなかった知人が生きながらえる
- 医学全般に疑問を持ち、十年間調べ続ける



デーヴィッド・アイクの話

- 動画をどうぞ



- この現実はシミュレーションである
 - アイクの主張では、「神によるゲーム」ではなく、トラップ（罠）。
- 2017年頃から、主流派の科学者たちも言い出している



特に、映画「マトリックス」との類似性

- マトリックスはシステムだ、システムは敵だ。マトリックスに入ると何が見える？ビジネスマンに教師、弁護士、大工、彼らは我々が救おうとしている「心」だ。しかし、救うまで皆システムの一部だ。つまり、我々の敵だ。忘れるな、多くの者はプラグを抜く準備ができていない（マトリックスから離れて現実を知るの意味）。彼らはあまりに慣れすぎて、盲目的にシステムに頼っている。だからそれを守ろうとする。



グローバルカルトが大衆から隠したい秘密

- 人類をどうするかという計画
 - ーデーヴィッド・アイクは、これを暴露してきたと言う。そして、「あなたの予言が当たった」と良く言われる
- 現実の本質
 - ー人間を超える者が「四次元」から指示をしている（ぶっちゃけ悪魔という概念）



「悪魔」がグローバルカルトに指示している

- 様々な宗教を調べてみると、どれも「悪魔」の存在を指摘し、それが影から指示していると言う。



悪魔の求めるもの

- 悪魔は、人間の負の感情を餌にしている
- だから、グローバルカルトは、悪魔に生贄を捧げ、ひどい行いをし、犠牲者の恐怖をかきたてる



我々には見えない

- 人間の五感は「特定の周波数領域」しか知覚できない
- 全体像を見ることはできない

